

副産物情勢

10月11日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																								
内臓	1.国産牛	○ 8月の成牛と畜頭数は、82.2千頭(前年比96.3%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:38.5千頭(前年比102.1%)、交雑牛:19.2千頭(同94.8%)、乳牛去勢:10.3千頭(同91.6%)となった。 ○ 9月の成牛と畜頭数は、速報値(9月30日まで集計)で86.6千頭(前年比96.4%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(9月26日公表)によると、9月は交雑種が増加するものの、和牛及び乳用種の減少が見込まれることから前年を下回ると予測し、10月は、和牛、乳用種の減少が見込まれるものの、交雑種の増加が見込まれことから、前年を上回ると予測する。(9月 88.3千頭(前年比97.7%)、10月 98.1千頭(同101.6%)) そのため、3か月平均(8月～10月)では、出荷頭数90.2千頭(前年比99.2%)、生産量28.5千ト(同100.1%)と前年並みの予測となっている。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物は全体的に荷動きは堅調。タン・ハラミ・ホホ・ハツ等の引き合いが継続しており、在庫がひっ迫している。レバーは冷凍の荷動きが芳しくなく、市中在庫が増えてきている。 白物は冷凍小腸が少しずつ流通し始めてきているが、生での荷動きも多く、滞留在庫の解消には至っていない。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	令和3年4月 1日	35	7																								
令和3年4月 26日	25	5																									
令和3年10月 18日	35	7																									
令和4年2月7日	25	5																									
令和4年4月4日	35	7																									
令和4年8月8日	45	9																									
2.国産豚	○ 8月の全国豚と畜頭数は、1,223千頭と前年を下回った。(前年比94.0%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道98.6%、東北90.3%、関東95.2%、北陸甲信越94.3%、東海93.6%、近畿94.5%、中四国97.9%、九州・沖縄93.1% ○ 9月の全国と畜頭数は、1,261千頭(速報値9月30日まで集計、前年比97.5%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は66,353頭(前年実績:64,640頭/日、前年差1,713頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;9月25日付け)によると、10月;1,432千頭(前年比100%)、11月;1,468千頭(同99%)、12月;1,484千頭(同102%)、令和7年1月:1,417千頭(同100%)、2月:1,396千頭(同102%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並みの見込み。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物はカシラ・タン・ハラミの需要部位は引き続き堅調推移であるものの、ハツ・レバーは市中の凍結在庫が積み上がっている。白物は大腸が焼き材需要により一定の荷動きがあるものの、需要期前のため、一部地域では小腸の在庫がやや滞留している。豚内臓全体の引き合いは決して強くないものの、9月のと畜頭数が低調に推移したことから、需給バランスは保たれている。	2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
令和3年3月 11日	35	4																									
令和3年4月19日	25	3																									
令和3年10月 15日	35	4																									
令和4年2月1日	25	4																									
令和4年3月28日	35	4																									
令和4年8月1日	45	5																									
3.輸入牛	○ 8月の輸入通関実績は、全体で48.9千トと前年を上回った(前年比107.0%、前月比99.1%)。 内訳ではチルド:16.0千トン(前年比92.3%、前月比84.7%)、フローズン:32.9千ト(前年比116.1%、前月比107.9%)となった。 輸入相手国別では、チルドは米国、ニュージーランドが増加し、フローズンは豪州、ニュージーランドが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、9月は輸入品在庫量が多く前年同月の輸入量が少なかったこと等から、上回ると予測し、10月は豪州産及び米国産の減少が見込まれることから、下回ると予測する。 フローズンは、9月は豪州産の加工用向けの増加が見込まれること等から、上回ると予測し、10月は現地相場高の影響により米国産の減少が見込まれることから下回ると予測している。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和6年 9月 合計:40.0千ト(前年比108.0%)、チルド:15.5千ト(同101.2%)、フローズン:24.5千ト(同113.0%) 令和6年10月 合計:38.5千ト(前年比95.5%)、チルド:15.4千ト(同91.9%)、フローズン:23.1千ト(同98.2%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年8月):牛腸(冷凍) ;1,600.6ト(前年比162.3%・前月比130.5%) 国別実績;米国1,364.6ト、豪州130.4ト、メキシコ82.9ト、カナダ16.3ト、スペイン6.3ト 牛レバー(冷凍);160.4ト(前年比96.5%・前月比275.5%) 国別実績;米国77.6ト、豪州72.2ト、メキシコ10.4ト	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
令和元年7月22日	700	10																									
令和2年3月16日	500	10																									
令和2年6月15日	100	10																									
令和2年7月20日	100	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年5月24日	10	10																									
令和5年10月16日	10	2																									
原皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 8 月) : 39,109枚(前年比93.6%、前月比103.4%) 国別実績;タイ30,964枚(前年比109.1%)、韓国8,145枚(同169.9%) 輸出平均価格(令和6年8月):2,790円/枚(前年差+610円、前月差△82円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 6 年 8 月) : 牛大判皮16,193枚(前年比62.8%、前月比97.1%)、ウェットブルー14,865枚※(同136.1%、同79.0%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年8月):牛大判皮7,124円/枚(前年差△2,096円、前月差△829円)、ウェットブルー11,168円/枚(同△356円、同△920円) ○ 海 外 情 勢 : 靴、カーシート、家具、鞆等すべての市場で回復の兆しが見えず、上海レザーショーでも活発な取引がなかったことから、今後も長期的な低迷が続くと予測される。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでいる。皮革製品の需要喚起が必要である。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
令和元年8月15日	1,000	10																									
令和2年3月16日	800	10																									
令和2年6月22日	300	10																									
令和2年7月27日	300	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年6月1日	10	10																									
令和5年10月23日	10	2																									
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 8 月) : 989,580枚(前年比107.6%、前月比112.8%) 国別実績;タイ887,580枚(前年比149.4%)、カンボジア73,600枚(同29.9%)、韓国28,400枚(同882.8%) 輸出平均価格(令和6年8月):438円/枚(前年差+103円、前月差△21円) ○ 需 給 動 向 : ベトナム向け輸出申請書類の要請レベルが上がったため、対応しきれずに輸出を控える業者が散見される。無理にでも他国へ輸出せざるを得ない状況。 価格低迷により、安価であったB級品の優位性が失われ、販売状況は厳しくなっている。																										
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(10月渡し):牛脂145円/kg(前年差±0円、前月差±0円)、豚脂145円/kg(同△10円、同±0円) 牛脂は、ファストフードチェーンのフライドポテトの需要が伸長していないに加え、カレールウの需要減少が影響し、需給は緩和している。 豚脂は、純製ラードから調製ラード・植物油へ移行した需要が完全には戻らない等、消費量が減少していることから需給は緩和している。 ○ マレーシア産パーム油相場(9月):180円/kg(前年差+31円、前月差+8円) 8月生産量は189万トン(前月比102.9%)、輸出量は152万トン(同90.3%)、月末在庫は188万トン(同107.3%)となった。 11月までの増産期の生産量低下が懸念されているほか、依然としてバイオ燃料の需要は拡大しており、今後も底堅い相場推移を見込む。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (9 月) : 114円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (9 月) : 95円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(9月):123円～126円/kg程度(前年差△20円、前月差±0円)	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr><tr><td>令和6年7月1日</td><td>145</td><td>145</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
令和4年4月1日	175	170																									
令和4年7月1日	195	190																									
令和5年1月1日	175	175																									
令和5年4月1日	165	175																									
令和5年7月1日	155	165																									
令和5年10月1日	145	155																									
令和6年7月1日	145	145																									